SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)

カテ	非該	₹ - ₩ 4 項目	取組	具体的な取組	1	2 3	$\overline{}$	EなSD 5	Gs (17⊐ั—ม 6 7 8	16 ع			関連項目 13 14	15 1	6 17
ゴリ	当	チェック項目	レベル	(県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	trital	#: 3 x 24	452°	5 mg**	7 B SEC.		18:25m	A STATE OF S	•		© 1000 €
1		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差 別がないことを確認している	基本	・採用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している(研修の実施、相談窓口の設置)				5.1 5.2 5.5	8. 8. 8.	7	10.2 10.3			16 16	5.2
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備 している	基本	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則。及びコンプライアンスハンドBOOKに明記している・ハラスメントに関する研修を実施している(研修コンテンツがあり、全社員が研修対象)・人事室がハラスメント窓口で匿名性を担保している・社員満足度アンケートでハラスメント記載ある社員には個別で面談実施				5.1 5.2 5.5	8.					16	.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	DX活用に依る業務効率化をプロジェクトteamにて推進継続中期初に最低6日の有給取得奨励日を事前申請させる運用方法 育児対応として時短勤務を取り入れている。男性社員も育児休暇取得を検討中 WellBeingプロジェクトにて現場意見を取り入れ職場環境の改善に取り組み中					8.						
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	東京ステーション(中央物流センタ-)で、外国人を継続雇用しているが、定期的な会話も有り人権侵害は発生していない。 生活環境についても充分な配慮がなされている			4.4		8.		10.2 10.3				
5 人権・労働		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	各場所で安全衛生環境月報を作成し本部(総務人事室)にて内容確認をしているリスク管理委員会で現場事故の情報は共有化され、随時改善や見直しを行っている 送風機ユニフォームを導入し、塩飴、大型扇風機の設置等暑さ対策を実施 ヘルメット着用は毎朝礼時に必ず確認しているアルコールチェッカー導入済み、サーバー方式への切替検討中		3			8						
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	定期的にメンタルヘルスのアンケートを行っている やや問題ありは産業医、担当医に相談窓口があり、診察を受け総務人事でフォロー メンタルメルス医は明示されていて、直接又は人事室経由で 気軽に利用可能		3									
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取 り組んでいる	基本	気軽に利用可能 グ州システム/乗務の曹ノロシエケトメンハーは公券とシステム課推薦の両建でとしている 女性社員のマネージャー登用を進めている 物流センターで外国人労働者を雇用している 温階性相互属 生間反は、単独を自身体等計画、可要計画				5.1 5.5	8.	5	10.2 10.3				
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	職務や役割に応じた研修体制を整備し実施している(場所 長、主任、主事、内勤R等) 業務に必要な資格取得に関わる経費を負担している(資格 取得時) 新人にはOJT担当者を1名任命し、手当を付けている 研修管理システム導入済み、スキルアップ、商品知識、法令 順守、道徳等コンテンツ各種			4	5.5	8	9					
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	働き方改革関連法など、関連法令の内容を理解し、従業員の厚生な処遇を行っている 目標管理シートを運用し、期初に所属長と会話の上で各人が 目標設定し期末に評価				5.5	8.	5	10.2				
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	社員満足度チェックが定期的におこなわれている 社員満足度、上司との関係性、職場環境について情報収集 がなされ、総務人事が状況に応じて関係者と会話して問題の 共有化を図っている		3			8	1					
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	環境マネジメントシステム(ISO14001)審査登録有り 全拠点で物流規定書にて産業廃棄物はマニフェストにて管理する規定 マニフェスト有無は業務監査室にて確認をしている 年に一回管轄する市区町村へ排出報告を行うことを規定書 に明記								11.6 12.4	14.1		
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	サステナビリティ委員会発足し、脱炭素部会プロジェクトが活動を開始した 2021/2022年度の燃料(Scope1)、電気(Scope2)のGHG排出量は見える化達成 2021年度比ム34%程度で2030年度のCO2排出量を目標化で検討中 (2013年度比46%削減に見合った削減目標)					7.3				13		
13 環 境		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	脱炭素部会で計画案の提案を検討中 2013年→2021年でGHG削減量は国全体で82%(△18%)が 公表値、2030年度GHG排出量は2021年度比で34%となる ので、年度別削減目標はそれにみあったGHG排出量とすべ く、ワリーンエネルキー、EV車、エコ車導入の段階的な導入を検討 中					7.2 7.3			12.4	13.3		
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組ん でいる	基本	法令で規制されている有害化学物質を把握し、自社活動により発生する有害化学物質削減のための計画を策定している SDSシートを運用		3.	9		6.3			11.6 12.4	1		
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境に配慮した材料、製品、サービスの利用・提供を通じて 生物多様性保全に配慮している					6.6					15	
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	受発注業務はベーパーレス化されている 更なるベーパーレス化、省カ化にむけて業務改善プロジェクト が活動中(インボイス含む) エシカル製品の導入、開発を検討している 返品良品は手入れしてリサイクル								12.5	5 14.1		
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	安全衛生環境月報にて、毎月の水道使用量をチェックしている 前年度の水道料使用実績値との比較で、増減量が把握可能で大幅増は指導が入る					6.4 6.6						

								主なS	OGs (17ゴー	ールと	169	ターケ	・ット)関連	項目			$\overline{}$
カテゴリ	非該当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	2 :	2 3	4500		6	7	8	9	10	11	12 1	3 14		16	
18		【環境マネジメントシステム】 ・1S014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	環境マネジメントシステム(IS014001)は導入済み エコアクション21、RE100は大手客先の脱炭素アンケートで情報 入手したので内容確認中		3.	.9		6	7					12 13	3.3 14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	SDGs宣言はHPで行っている 脱炭素部会プロジェクトが活動開始し、2021/2022のGHG 排出量を数値化出来たので、HP上での情報開示から開始予 定。環境報告書(TCFD)についてはPJで問題提起して経営メ ンバー報告会にて対応検討を具申中											12.6				
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	クリ-ンエネルキ'-の導入を検討中 1.8円/1kwhのコスト高となるので、段階的にクリ-ンエネルキ'- の導入を検討中(会話中) 倉庫照明は基本的にLEDに切替完了 複合機はリ-スアップ。品 よりリクレジットの入手予定 旧式エアコンを特定化して切替を進めるべく調査中						7.2					1	3			
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	基本的に各メーカー共に認証製品を利用している											12.2 1	3 14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	コンプライアンス遵守宣言(2008年3月28日取締役決議事項) コンプライアンス・ハンドブックに細かい記載あり、定期的な読み合わせあり 研修サイトで入社間もない社員は必ず拝聴するサイトとなっている 業務監査で問題提起された事案は、全社員で共有化して末端まで情報共有化する														16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	コンプライアンス・ハンドブックに細かい記載あり、定期的な読み合わせあり 研修サイトで入社間もない社員は必ず拝聴するサイトとなっている 業務監査で問題提起された事案は、全社員で共有化して末端まで情報共有化する														16	
公正な事業		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	各種ソフトウェアはシステム部にてライセンス管理を徹底し、必要に応じて追加購入中 クライアント、サーバー、携帯端末共に勝手なアプリケーション のインストールが出来ない 情報セキュリティ対策規定に明示されていて、定期的な研修 で注意喚起をしている							8.2 8.3	9							
慣 行 25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報保護に対する基本方針を定め周知徹底すると共に体制整備を行っている 社員は研修コンテンスの拝聴を定期的に行い周知徹底図っている(新人は研修会) 名刺管理ソ가導入時に紙名刺の管理徹底を図っている データダウンロードは不可 新しいウイルス対策ソフト 別製品にてセキュリティ強化導入 予定														16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	自社製品の原材料サプライチェーンを把握し、適正な取引がなされた原材料当を使用している														16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の 防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、 共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先との会話を通じ、人権侵害の防止や環境保護党の取り組み状況を確認している 業務監査にてE監査を実施し、不明瞭な販売明細を調査追 跡する仕組みがある				5			8		10		12 1	3 14	15	16	17
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗出しと対策実施を行っている SDSシート(Safety Data Sheet)を管理し、適切に処理出来る体制を取っている		3.	.9								12.4				
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	ISO9001を取得している 顧客からのクレーム対応など、品質を保障する仕組みを構築 している								9							
製品・サービス		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	環境に優しい製品群を取り纏め、極力見積の段階から提案 するよう指導中 四半期毎発行パンフレットで、環境配慮製品の紹介ページを 設けて客先と共有化 自社PBについても環境配慮型製品の企画を優先的に取り組 んでいる エシカル商品の取り扱い検討タスクあり					6						12 1	3 14	15		
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	エコ車両、車両ダウンサイジングを進めている EV車も導入 済ダンボール削減、パンット活用でゴミ削減のサービスを実施 エコ運転推奨、ドライブレコーダーを全車両に導入月次で チェックし問題ありは指導 エアコン等はユニット化して、現場の施行性や省力化、時間 削減を協力に推進 BIM(3次元CAD+ α)を試験的に導入し、主力サブコンを大型現 場で試験運転中	1	2 3	3 4	5	6	7	8	9	10	11	12 1	3 14	15	16	17

							3	上なSD	Gs (17ゴー.	ルと	169ター	ーゲッ	ト)関	連項	目		
	非該	チェック項目	取組	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1	2 3	4	5	6	7	8	9 1	0 11	12	13	14	15 16	ì 17
	当	ノエクノ残日	レベル	併せて記載してください。)	territat	2 821	4 10200	5 💥 💆	<u>A</u> 8 3855	7	**** ***	silvar Š	11 000 All	∞	©	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	18 ac.	₩
32	t	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	産業廃棄物は業者と契約を行い適切に処理している 搬入、搬出・商品移動の際の騒音については近隣の迷惑に ならないように十分注意をして作業を行っている。			4					9	11	. 12		14	15	17
地域貢献		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンシ	;			4						11			14	15	17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンシ	\$							8	9	11	. 12	13			
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を明文化(社是)し、経営者は適時経営目標を従業員に説明し共有化している 社是は各拠点に必ず飾ってある 期初全店会議の内容は、場所長を通じて全社員に伝達され る仕組み 内部通報制度運用中							8	9						17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	コンプライアンス・ハンドBOOKにて細かい記載あり 新たな法令や法令の変更が生じた場合は、所管部門より新 運用ルールが配信される リスク管理委員会でも法令変更については情報共有化あり													16	5
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	SDGs推進の組織としてサステナビリティ委員会が組成された ①人口減少問題解決、②脱炭素、③WellBeingの3部会がプロジェクト化され、各部会共に部会長、副部会長、事務局にバイネームあり、2ヶ月に1回の経営報告会がある													16	5
38 織体		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	適宜ステークホルダーとの会話等で意見を経営に生かすなど、双方向コミュニケーションに努めている エンバユーザーからの製品及び施行クレームには、一次窓口 として紳士的に対応している													16	6 17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンシ	リスクマネジメント委員会を半年毎に開催し、各本部からな代表 表部門が期間内に発生したリスク事案の対応や対策案を持ち寄ってリスクを経営メンバーと共有化している													16	5
40		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動 が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンシ	HP、パンフレットでCSRに関する取り組みを発信している にお客様感謝祭、仕入先様感謝祭で社長がビデオメッセージで 取り組み内容を説明													16	5
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンシ	事業継続計画(BCP)を策定している 各種環境がかなり変わってきているので、システム面を中心 に見直しを行っている ウイルスメールに付いてはDX推進課が全社員向けに実地研 修を行っている								9	11		13 13.1		16	5
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンシ	後継者そ指導育成は3年毎に行っているIBS(イングロ・ビジネ ス・スタンダード)にて選抜メンバ・選定し、7回に渡って宿泊ありの 次世代経営トップメンバ・研修を行っている							8	9						17

上記以外で設定した取組項目

上記以外で設定した収租項目																	
独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16 1
																	+
																	+

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取 り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)